

IOTを活用した機器監視の自動化による、負担軽減や稼働状況の可視化を実現した事例

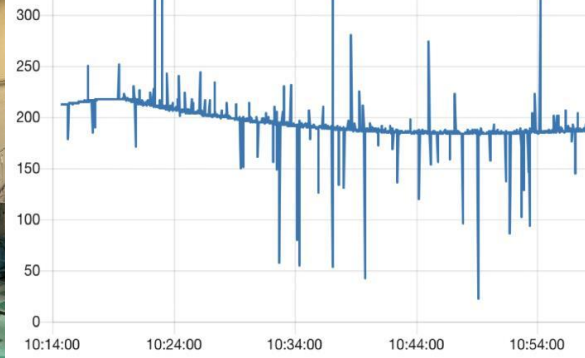
湘南香料株式会社

住所 北杜市須玉町

資本金 75,000千円

従業員数 26名

事業内容 香料製造



取組前の課題

- 物価高騰が続く中、生産性を上げ、省エネや効率化によるコスト削減や働き方の改善に努めていく必要性があった。
- 高所に設置されたタンク内の液量確認など危険が伴う業務や非効率な業務を改善したい。
- 工場内で稼働する各抽出機の温度等を目視で確認、システムへ手入力していることから、負担の増加やヒューマンエラーが発生する要因があった。

DXの取組

- DX推進アドバイザーに相談したところ、**IoT機器を後付け設置することで、作業状況を改善**できるとの助言を受けた。
- タンクの液量確認は「Raspberry Pi 4」と「超音波センサー」により可視化を実現。
- 導入した機器よりデータを抽出、システム取り込みを実施することで、ヒューマンエラーを回避。

工夫・苦労したこと

- タンクの液量確認は、高額な設備を導入することなくIoT機器で対応できるよう、試行錯誤を重ね、超音波センサーを用いることで効率化を実現した。
- 工場内で稼働する各抽出機の温度等の可視化に当たっては、山梨みらいファンド事業費助成金を活用することで、複数の計測データをリアルタイムで取得し、ひと目で必要な情報を把握することができるダッシュボードも構築した。

DXの効果・今後の展望

- タンク内の液量や各抽出機の温度等をデータ化、リアルタイムで確認可能とした。また、システムへのデータ記録を自動化したことで負担軽減を実現することができた。
- これまで目視データのみしかなかったが、各抽出機の稼働時間全てのデータ取得が可能となったことで、IoT機器導入前は気づけなかった改善点を発見することができた。
- 今後はさらにデータを取得、稼働状況等を分析し、**異常時警報の実現や事業最適化にも取り組んでいく方針**。

山梨県内でも**中小企業がDXにチャレンジ**しています！

山梨県では**無料**で中小企業のDX導入を支援しています。やまなし産業支援機構「DX推進応援隊窓口（055-243-1888）」までお気軽にご相談ください。